

**製品名: FAM48A ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab10816**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	85kDa

**抗原情報**

遺伝子名	FAM48A C13orf19 FP757
別名	FAM48A C13orf19 FP757
遺伝子 ID	55578.0
SwissProt ID	Q8NEM7
免疫原	抗血清はヒト FAM48A の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 231-280

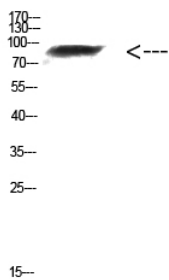
**背景**

機能: 胚葉形成中の MAP キナーゼ p38 (MAPK11、MAPK12、MAPK13 および/または MAPK14) の活性化に必要。NCK 相互作用キ

ナーゼ (NIK) 下流の E-カドヘリンタンパク質レベルを調節することにより、胚葉形成中の E-カドヘリンのダウンレギュレーションに必要であり、FGF シグナル伝達および Snail による転写調節とは独立している。類似性:FAM48 ファミリーに属します。サブユニット:MAPK14 と相互作用します。組織特異性:精巣で高度に発現し、脳および下垂体で中等度に発現します。肺、脳、胸腺および腎臓を含むいくつかの胎児組織で発現します。悪性前立腺組織では発現が低下します。機能:胚葉形成中の MAP キナーゼ p38 (MAPK11、MAPK12、MAPK13 および/または MAPK14) の活性化に必要。胚葉形成期における E-カドヘリンのダウンレギュレーションに必須であり、NCK 相互作用キナーゼ (NIK) 下流の E-カドヘリンタンパク質レベルを調節することで、FGF シグナル伝達および Snail による転写調節とは独立して働く。類似性: FAM48 ファミリーに属する。サブユニット: MAPK14 と相互作用する。組織特異性: 精巣で高発現、脳および下垂体で中等度発現。肺、脳、胸腺、腎臓など、いくつかの胎児組織で発現する。悪性前立腺組織では発現が低下する。

## 研究分野

## 画像データ



1000 倍希釈の抗体を用いたマウス腎臓細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。